土質ボーリング柱状図（標準貫入試験）

調　査　名　防地川　通常砂防事業に伴う測量等業務委託　その他河川　防地川

事業名 または 工事名

調査目的及び調査対象　砂防 砂防

ボーリング名	Bor.No.2	**調査位置**	広島県尾道市防地町			**北緯**	34° 25′ 4.1843″
発注機関	広島県東部建設事務所三原支所			**調査期間**	2023年 2月 8日 ～ 2023年 2月 13日	**東経**	133° 12′ 32.1805″
調査業者名		**主任技師**		**現場代理人**		**コア鑑定者**	**ボーリング責任者**
孔口標高	T.P. 37.40m	**角度**	180° 上下 90° 0° 0°	**方位**	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南	**地盤勾配**	水平0° 鉛直 90° 35°
総削孔長	10.00m	**使用機種**	**試錐機**	東邦地下工機　D1-B48	**エンジン**	ヤンマー　NFD-12	**ポンプ** 東邦地下工機　BG-3C

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	現場土質名（模様）	現場土質名	地盤材料の工学的分類	色調	相対密度	相対稠度	地質時代名	記事	孔内水位／測定月日
1	36.40	1.00		シルト混じり砂		暗褐			第四紀	旧耕作土とみられる砂質土。 細砂と細粒分が均等に混じる。 少量の細礫～中礫を混入する。 礫分の最大径は15mm以下。 区間の最下部まで植物根を含有する。	
	35.45	1.95		シルト混じり砂礫		褐	rd2			礫分は細礫～中礫主体。 所々にφ40～60mmの粗礫を混入する。 大径の礫分は少し軟化している。 マトリクスは土壌化の進んだシルト質砂からなる。 砂分の粒度分布は悪くない。	02/09 2.05
2				玉石		褐灰				巨大な転石と判断されるものであり、石または巨礫と表現すべきものである（柱状図作成要領に従い、玉石と記載した（転石、石、巨礫のコードが設けられていない））。 1.95～2.75m間は強く表面風化し、マサ状～コア肌の粗い固結状コアで採取される。軟岩I相当の硬さである。 2.75～3.1m間は少し硬さを増すが、貫入試験は受け付ける。同じく軟岩I相当の硬さと評価される。 3.1～5.1m間は、概ね30cm以上の柱状コアで採取される。全体に中硬質の硬さを示すが、弱い風化色を伴い、コア肌は滑らかとは言い難い。 4.60～4.65m間はマサ状風化しており、マトリクスではなく、割れ目沿いの風化とみられる。	02/10 2.84
3											
4											
5	32.30	5.10									
6	30.60	6.80		砂礫		淡褐灰	rd4			明らかに砂礫層の組織を示し、上位区間が転石であることが分かる。 礫分は中礫～細礫が主体をなす。 大径のものはφ20～80mm程度に達す。 マトリクスはマサ土質な中砂を主体に、少量の細粒分を伴う。 貫入試料の含水は中程度である。	
7	29.95	7.45		風化花崗岩		灰褐			白亜紀	マサ状風化著しく、砂～細礫状コアを呈す。固結度は失われ、コアを押せば容易に崩せる。DH級岩盤（軟岩I相当）に区分される。	02/13 7.34
	29.60	7.80		強風化ひん岩		黄褐				ひん岩の小岩脈。強く粘土化するものの、割れ目痕跡等の構造は認識しうる。DM級岩盤（固い粘性土相当）に区分される。	
8	28.90	8.50		風化花崗岩		褐灰				岩芯風化し、固結度は失われつつある。細礫状コアが主体をなす。深度とともに硬さは増している。DH級岩盤（軟岩I相当）に区分される。	02/22 8.50
9	27.40	10.00		花崗岩		淡桃灰				高角度の割れ目を境に、急激に岩盤状況が好転する。8.65mまでは少し風化が強い（CM級相当）。コアは20～40cmの柱状を呈す。少しの岩芯風化を伴うものの、岩片は中硬質である。斜め45°以下の割れ目が散見され、割れ目に沿ってわずかに風化している（鋭い形状ではない）。CH級岩盤（中硬岩相当）に区分される。	
10											
11											

標準貫入試験

深度 (m)	N値	100mmごとの打撃回数 0～100	100～200	200～300	打撃ごとの貫入量	50回の貫入量	自沈時の貫入量
1.15	7	2	3	2	7/300		
1.45							
2.15	125	33	17/20		50/120	120	
2.27							
3.00	750	50/20			50/20	20	
3.02							
4.00		貫入不能			50/0		
4.00							
5.35	45	13	15	17	45/300		
5.65							
6.15	68	17	26	7/20	50/220	220	
6.37							
7.15	52	20	20	10/90	50/290	290	
7.44							
8.00	83	20	30/80		50/180	180	
8.18							
9.00		貫入不能			50/0		
9.00							
10.00		貫入不能			50/0		
10.00							

試料採取

深度 (m)	試料番号	採取方法

室内試験　**原位置試験**

削孔月日

2/8
2/9
2/10
2/13